



未完を抱く感受性

わからないまま、持ってられる。

揺れることと、
揺れをどう扱うかは、同じではない。

すぐに均されるものもあれば、
そのまま置かれるものもある。

判断が遅いのではない。

ただ、
終わらせないだけだ。

未完のまま残ることを、
止めない。

未完は、不安定に見える。

だが、
抱えられている未完は、崩れていない。

すぐに意味に触れれば、
揺れはそこで止まる。

止まったものは、
それ以上沈まない。

残されたままのものだけが、
深さに触れていく。

答えに触れて終わる構造と、
触れずに残る構造がある。

前者は整う。
後者は、増えていく。

未完を持ったまま立つとき、
沈黙は、近づく。



深さは、
終わったあとには、
残らない。



Edition — 存在の芯
別景：未完を抱く感受性

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026